

身体計測

4月16日には身体計測がありました。身長がどれくらい伸びているのか楽しみにしている様子でした。養護の相馬先生から、「視力検査の機械の音だけ聞こえるようにしよう」とお話があったけれど、私語が目立ちました。身長が伸びていて嬉しかったのですが、少しだけならいいかな？という人が多くなると、ざわざわし始めて声が大きくなっていきます。状況を判断し、どのように立ち振る舞えばよいのかを自分で考えて行動できる集団になっていきたいと思います。



<敬称略>

「二年生になって考えたこと」

D組

一年生の入学式に出席したとき、私が同じように新入生として過ごした数日を思い出した。友達ができるか、なじめるか不安で、先輩は怖そうにみえたし、すごく緊張した。でも、思ったより周りの子は優しく、先輩も温かくむかえいれてくれた。そのおかげで、緊張や不安は自然となくなって、頑張ろうという気持ちになれた。だから、私はそんな先輩になりたい。

新入生達はきっと、私がそうだったように、緊張や不安がたくさんあると思う。その不安を取りのぞくような、温かくてやさしい先輩になりたい。だけど、温かいだけじゃなくて、頼れる先輩になりたいと思う。先輩としても、人としても。人から頼られる人は、かっこいいし、私にとって憧れの存在だ。そのために、部活の日々の練習を真剣にやったり、学校の勉強や人との接し方で信頼を得ていったりすることが大切だと思っている。

信頼は、人間関係の成り立ちの上ですごく重要なことだ。信頼がなければ人は離れていくし、簡単に取り戻すことができない。社会に出たことはないけど、大人になってもきっと同じだろう。

一年生のころは、勉強をサボったり、自分に負けてしまったりしていたけど、今年は気を引き締めて、先輩としても人としても成長できる一年にしていきたい。

「二年生になったら」

D組

「遅刻」この単語を聞き、皆は何を思い浮かべただろうか？

恋愛少女漫画にでてきそうなシーン？それとも凡人な主人公が本当は最強だった系の漫画・小説によくある最初のシーン？

人それぞれではあろうが、そもそもとして、なぜこんな質問をしたのか。それは僕に関係しているからだ。

僕は一年生の時、遅刻をするたびに先生や親から注意を受けた。また、遅刻が原因で、放課後に僕だけ二者面談になった。そこで、親と担任の先生に、二年生から頑張ると言い、約束をしたのだ。約束は守らなければいけない。

この作文を通し、僕は何を言いたいのか？それは、“面倒な方を選ぼう”ってこと。僕がそうなったように、面倒なことだけを後に回し続けると後悔する。面倒なことだけを後回しにしていると、その分、後で自分が留めてきた面倒くさいことが一気に自分に降り注いでくる。

そうならないように、朝起きるとき、後10分だとか言ってぐーたらせずに気合いを入れたり、宿題とかは後回しにせずその日になるべく終わらせたりするようにしたりと、面倒を後回しにせず頑張りたい。



入学式準備

